

## ふるさとの宝 発掘・発信プロジェクト

自民党新潟県連青年部局  
「政策プレゼンコンテスト」新潟大会  
発表者 近藤由香里

### あなたにとって「ふるさと」は？

- ① ふるさとは好きですか？
- ② " に住み続けたいですか？
- ③ " は帰って来たい場所ですか？
- ④ " の魅力や良さを説明できますか？
- ⑤ " 誇りを持っていますか？



↓



「人口減少社会」「少子高齢化社会」  
「消滅可能性都市」 etc.  
地方には厳しい時代だが・・・

これらの間に、住民・出身者が  
「はい」と答えられる地域が  
**生き残る**

## ふるさと（郷土）学習

教育基本法（H.18年改正）  
第二条（教育の目標）五  
伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

↓

### ふるさと（郷土）の歴史、文化、風習、自然などについての学習

- ◆ 近隣の人々、文化遺産、社会教育施設等、地域の教育資源や学習の機会を活用して、自主的な調査・研究に取り組む。
- ◆ 自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題解決をしようとする資質や能力を養う。
- ◆ 郷土の偉人・賢人等について理解を深め、地域社会に対する誇りと愛情を育む学社融合を支援する。
- ◆ 人々とのふれあいを通して、地域・人に対する思いやりの心を育てる。





## ふるさとの宝 発掘・発信プロジェクトの流れ

ふるさとの宝  
コンクール

ふるさとの宝  
映像化

地方創生  
地域活性化  
郷土愛の育成

## 発掘 ～ふるさとの歴史は宝の山～



**ふるさとの歴史を紐解くと、数多くのドラマが見つかる**

第二次大戦後、佐渡の寒村に不時着したイギリス軍用機を、村民が一丸となって救援し、無事に帰還させた。（⇒映画「飛べ!ダコタ」）

冬場の積雪で陸の孤島となり、厳しい生活を強いられていた旧山古志村の村民達が、手掘りですべてかけてトンネル＝中山隧道を完成させた。（⇒映画「掘るまいか 手掘り中山隧道の記録」）

江戸時代、徳谷藩の庄政に苦しむ柏刈・三島地区の農民達が、20年におよぶ幕府への直訴・陳情の結果、多数の死者、投獄者を出しながらも藩主交代を実現。（⇒地元劇団による舞台「天明義民」）

➡ **名もなき先人達の苦労や努力の上に 今の自分たちの暮らしがある**

➡ **歴史はその地域にしかない 唯一無二の「ふるさとの宝」**

## ふるさとの宝コンクール

子ども達がふるさと学習で調べた地域の歴史、伝承、事象、人物などについて「ふるさとの宝」として発表。各地域の「宝」に触れることで、新潟県全体の歴史、魅力を知る。

対象⇒新潟県在住の小中学生 個人またはグループ発表（親子、祖父母&孫による発表も可）

方法⇒発表時間は10分程度、媒体は自由とする。

時期⇒募集〆切 9月上旬（夏休み後） コンクール 10月中旬（連休頃）

審査⇒新潟県教育委員会ほか 幅広い立場・年代の審査員が採点

賞 ⇒ 最優秀賞をはじめ複数用意

\*「ふるさとの宝プロジェクト実行委員会」を立ち上げ、詳細を詰める。

\*コンクール自体をイベントとして据え、楽しく参加できるようなものにする。

\*コンクールの模様はテレビ・ラジオ中継し、映像をインターネット上で公開。

## 発信 ～ふるさとの宝を映像化～

「ふるさとの宝コンクール」最優秀作品をもとに、ドキュメンタリー映像を制作

映像化にあたっては制作者を公募し、実行委員会が選考。

撮影は最優秀作品の地元で行い、発表者および地元住民が出演。その地域の魅力が伝わるような内容にする。

映像はテレビで放映、インターネット上でも公開する。

DVDを作成・頒布し、教育や観光に使えるようにする。

撮影は1年以内。翌年のコンクール前に発表し、話題づくりに役立てる。

## 期待される効果

- ◆ ふるさと学習者および「ふるさとの宝コンクール」出場者のモチベーション向上
- ◆ 映像制作公募により無名の「映像作家の卵」にもチャンスを提供
- ◆ 地元での撮影、住民の出演により地域活性化につながる
- ◆ 映像が記録として残り、新潟県のPR活動や教育媒体として利用できる
- ◆ フィルムコミッションへの展開
- ◆ 子ども達、そして大人達のふるさとへの愛情、誇りを育成

### 地方創生、郷土愛の育成

